

10. 自転車のまちづくりについて

(1) 自転車の利用頻度

◇ 「ほとんど利用しない」が6割半ば

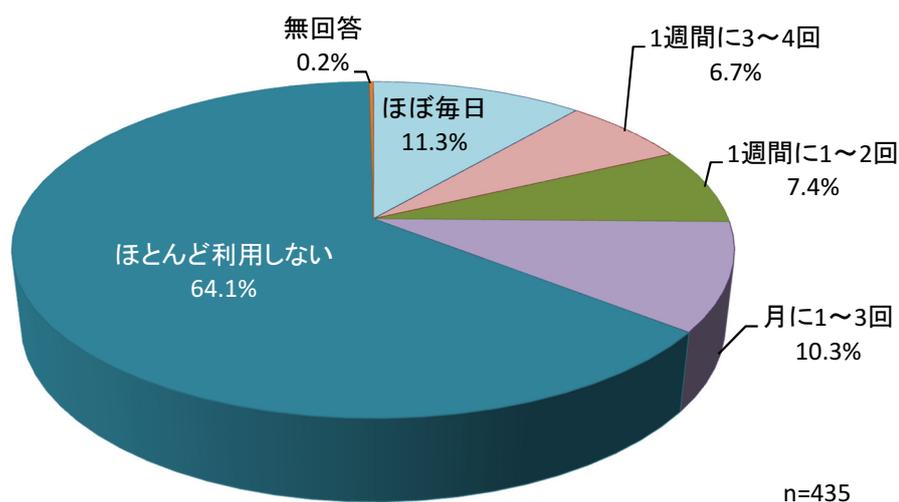
問4 1 どのくらいの頻度で自転車を利用されていますか。

(○は1つ)

n=435

1	ほぼ毎日	11.3%
2	1週間に3～4回	6.7%
3	1週間に1～2回	7.4%
4	月に1～3回	10.3%
5	ほとんど利用しない	64.1%
	(無回答)	0.2%

<図IV-10-1>全体



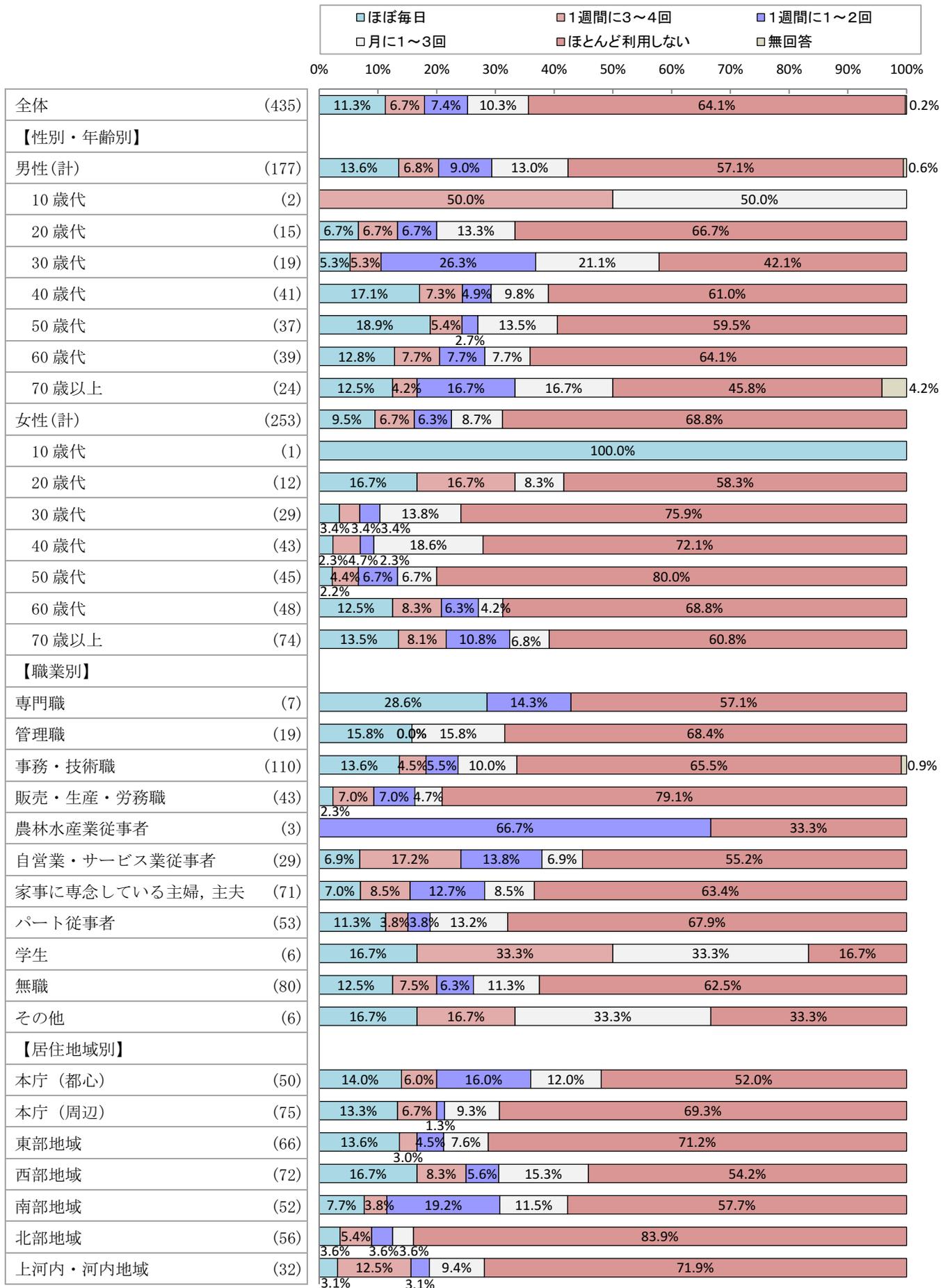
自転車の利用頻度については、「ほとんど利用しない」が64.1%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」が11.3%、「月に1～3回」が10.3%と続いている。(図IV-10-1)

性別・年齢別でみると、「ほとんど利用しない」は<女性/50歳代>が80.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が75.9%であった。「ほぼ毎日」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が18.9%であった。(図IV-10-2)

職業別でみると、「ほとんど利用しない」は<販売・生産・労務職>が79.1%で最も高く、次いで<管理職>が68.4%であった。「ほぼ毎日」は<専門職>が28.6%で最も高く、次いで<学生>が16.7%であった。(図IV-10-2)

居住地域別でみると、「ほとんど利用しない」は<北部地域>が83.9%で最も高く、次いで<上河内・河内地域>が71.9%であった。「ほぼ毎日」は<西部地域>が16.7%で最も高く、次いで<東部地域>が13.6%であった。(図IV-10-2)

<図IV-10-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別



(2) 宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思うか

◇ 「あまりそう思わない」と「そうは思わない」を合わせた【そう思わない(計)】が約6割

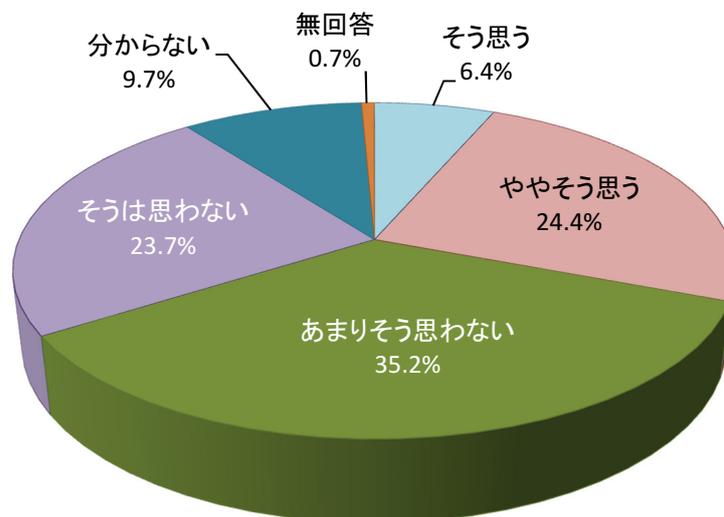
問4 2 宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思いますか。

(○は1つ)

n=435

1	そう思う	6.4%
2	ややそう思う	24.4%
3	あまりそう思わない	35.2%
4	そうは思わない	23.7%
5	分からない	9.7%
	(無回答)	0.7%

<図IV-10-3>全体



n=435

宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思うかについては、「そう思う」が6.4%、「ややそう思う」が24.4%で、これらを合わせた【そう思う(計)】は30.8%であった。一方、「あまりそう思わない」35.2%、「そうは思わない」23.7%で、これらを合わせた【そう思わない(計)】は58.9%であった。(図IV-10-3)

性別・年齢別でみると、【そう思う(計)】は<男性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が37.9%であった。【そう思わない(計)】は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が72.9%であった。(図IV-10-4)

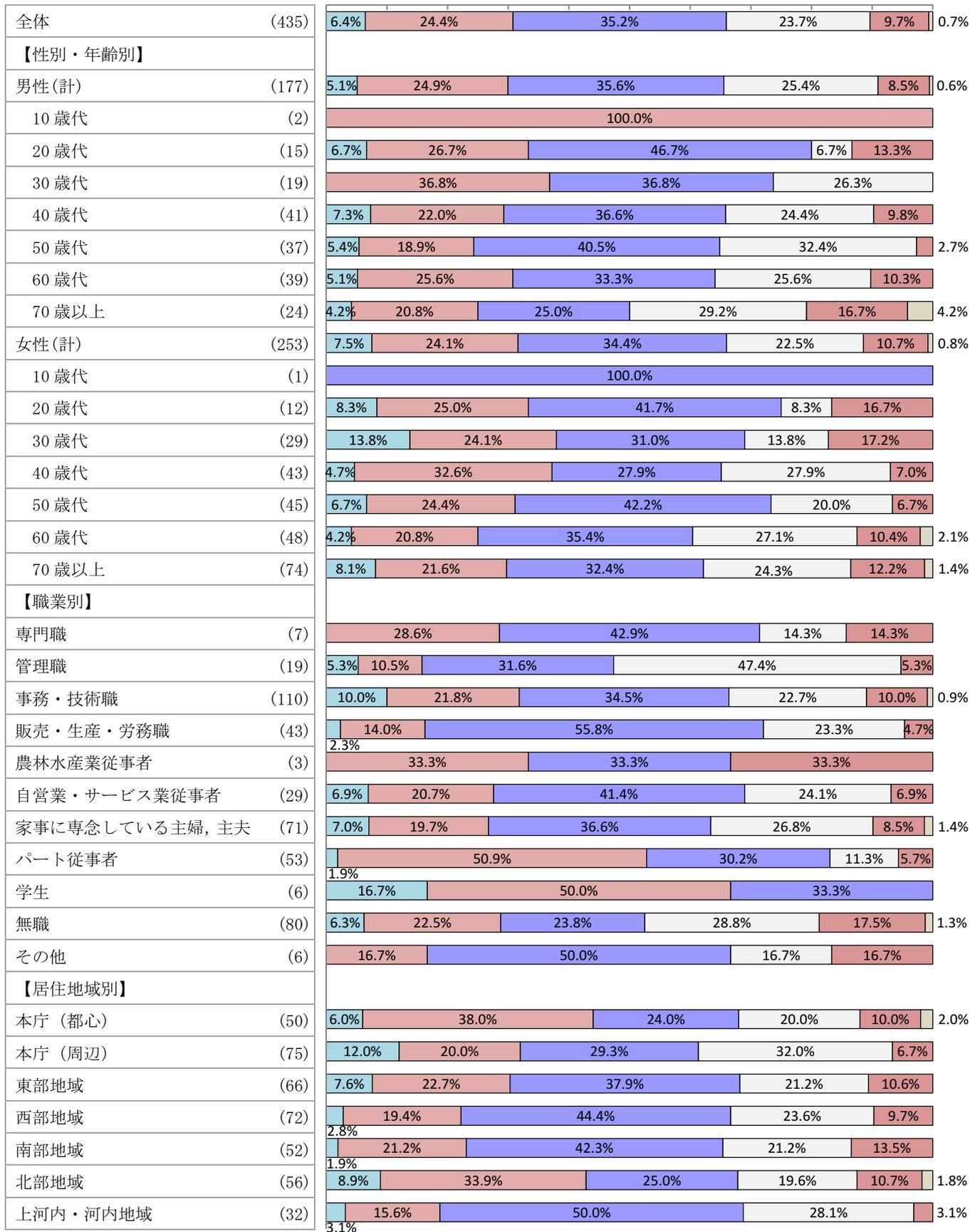
職業別でみると、【そう思う(計)】は<学生>が66.7%で最も高く、次いで<パート従事者>が52.8%であった。【そう思わない(計)】は<販売・生産・労務職>が79.1%で最も高く、次いで<管理職>が79.0%であった。(図IV-10-4)

居住地域別でみると、【そう思う(計)】は<本庁(都心)>が44.0%で最も高く、次いで<北部地域>が42.8%であった。【そう思わない(計)】は<上河内・河内地域>が78.1%で最も高く、次いで<西部地域>が68.0%であった。(図IV-10-4)

<図IV-10-4>性別・年齢別／職業別／居住地域別

□ そう思う □ ややそう思う □ あまりそう思わない □ そうは思わない □ 分からない □ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

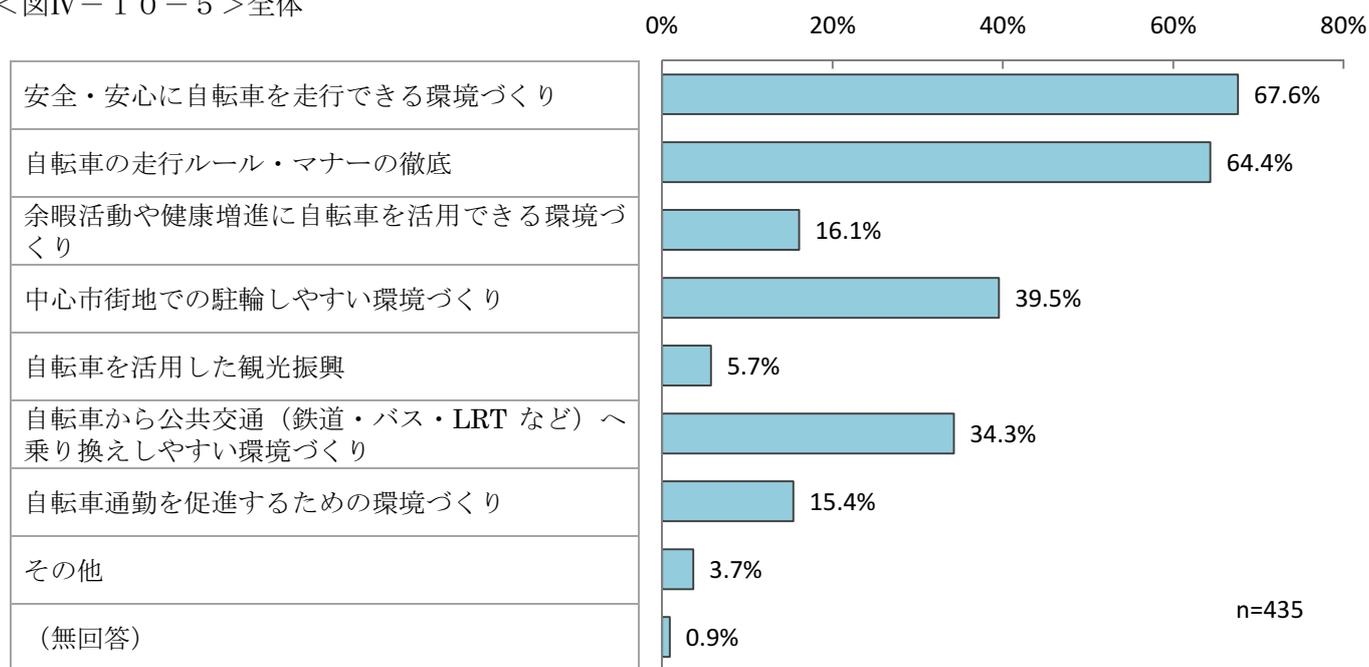


(3) 自転車のまちづくりを進めていくために必要な取り組み

◇ 「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」が7割弱

問43	宇都宮市では、自転車を活用したまちづくりに向けて、レンタサイクルや駐輪場の整備など様々な取り組みを行っています。今後、新たに、自転車のまちづくりを進めていくために、必要だと思う取り組みは何ですか。	(○は3つまで)
		n=435
1	安全・安心に自転車を走行できる環境づくり	67.6%
2	自転車の走行ルール・マナーの徹底	64.4%
3	余暇活動や健康増進に自転車を活用できる環境づくり	16.1%
4	中心市街地での駐輪しやすい環境づくり	39.5%
5	自転車を活用した観光振興	5.7%
6	自転車から公共交通(鉄道・バス・LRTなど)へ乗り換えしやすい環境づくり	34.3%
7	自転車通勤を促進するための環境づくり	15.4%
8	その他	3.7%
	(無回答)	0.9%

<図IV-10-5>全体



自転車のまちづくりを進めていくために必要な取り組みについては、「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」が67.6%で最も高く、次いで「自転車の走行ルール・マナーの徹底」が64.4%、「中心市街地での駐輪しやすい環境づくり」が39.5%と続いている。(図IV-10-5)

性別・年齢別でみると、「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」は<男性/10歳代><女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<女性/50歳代>が75.6%であった。「自転車の走行ルール・マナーの徹底」は<女性/10歳代>が100.0%で最も高く、次いで<男性/50歳代>が83.8%であった。(図IV-10-6)

職業別でみると、「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」は<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<家事に専念している主婦、主夫>が74.6%であった。「自転車の走行ルール・マナーの徹底」も<農林水産業従事者>が100.0%で最も高く、次いで<その他>が83.3%、<販売・生産・労務職>が76.7%であった。(図IV-10-6)

居住地域別でみると、「安全・安心に自転車を走行できる環境づくり」は<南部地域>が78.8%で最も高く、次いで<西部地域>が70.8%であった。「自転車の走行ルール・マナーの徹底」は<北部地域>が73.2%で最も高く、次いで<西部地域>が70.8%であった。(図IV-10-6)

<図IV-10-6>性別・年齢別／職業別／居住地域別

